

しあわせ

阿智村社協だより 2026.4

第150号

目標(基本理念)

“誰もが安心して暮らし、
長寿を喜びあえる福祉の村づくり”
“助け合い、支え合い、共に生きる地域づくり”



©ACHI4165SYAKYO

発行 | 社会福祉法人 阿智村社会福祉協議会
長野県下伊那郡阿智村駒場483(保健センター内)
TEL 0265-45-1234 FAX 0265-43-2223
印刷 | 龍共印刷株式会社

災害救援ボランティア養成講座を開催します



昨年、初開催した災害救援ボランティア養成講座ですが、参加者から高評価をいただき、今年も地域の防災意識を上げていく必要性から開催する事が決定いたしました。

講座内容



参加
無料

- | | | | |
|-----|------------------|------------------|---------------------------------------|
| 第1日 | 令和8年
5月23日(土) | 13:00~
17:00~ | ・阿智村における災害特性
・救命救急講習事前学習 |
| 第2日 | 令和8年
5月30日(土) | 9:30~
16:30~ | ・救命救急講習 |
| 第3日 | 令和8年
6月6日(土) | 9:00~
17:00~ | ・災害ボランティア推進委員会講座
・火災時の避難体験(飯田広域消防) |

詳細情報

定員 20名 場所 阿智村中央公民館2階会議室3・4

受付対象

阿智村在住の方、通勤や通学などで阿智村に滞在され災害発生した際に災害ボランティアとして活動できる方、その他防災関係者

申込期限

令和8年5月15日(金)

阿智村の高齢化率

37.81%

総人口 5,805人
65才以上人口 2,195人
(令和8年4月1日現在)

お問合せ先 受付時間:(平日) 8:30~17:30
阿智村社会福祉協議会 地域福祉係
TEL:(0265) 45-1234 まで

社協だより「しあわせ」には、皆様からいただいた社協会費を使わせていただいております。

障がい者スポーツ体験で自らの可能性にチャレンジ!



【阿智中学校で長野県ブラインドサッカー協会・松本山雅スポーツクラブによる
ブラインドサッカー教室が開かれました】

今年の3月はイタリアで障がい者のスポーツの祭典ミラノコルティナパラリンピックが開かれ、障がいの特性を活かした選手たちの熱いプレーが感動を呼び起こしました。

それに先立つ2月9日(月)、阿智中学校1学年の福祉体験教室が行われ、今回はパラリンピックの代表的な競技であるブラインドサッカーを生徒たちが体験しました。

体験前の生徒たちはどんな人に会うのか、ちゃんとできるのだろうかとドキドキしていたようですが、スタッフによるわかりやすく、楽しみながら学べるブラインドサッカー指導を生き生きと体験していました。



生徒たちの感想から



最初は周りが見えなくて自分が何処にいるのかが分からず、とても不安でした。しかし、声やボールの音を頼りに自分の位置や相手とボールの位置関係を感じてボールをけてシュートを決めることができました。コーチしてくれた先生は目が見えなくても簡単にボールを操っていて、すごかったです。

目が見えなくても言葉のやり取りや、相手の立場に立って考えるなどのコミュニケーションを大切にすることで、相手と通じ合えることが分かりました。このことはスポーツに限らず、日常生活のどのような場面でも大切な事だと思いました。



まるで目が見えているかのようにプレーするコーチのスムーズな動きに生徒たちは強い印象を受け、可能性にチャレンジすることの意義を学びました。そして、障がいをマイナスの状態ととらえるのではなく、1人1人が持つ個性としてとらえ、1人の人間として対等の関係であることに理解を深めていました。

教室は「話す」「聞く」「思いやる」の3つのコミュニケーションを中心に仲間との交流や信頼関係を深めていくことの大切さを学びました。更に、3つのコミュニケーションを日常生活の中で行っていくことで豊かな結びつきが生まれ、誰もが安心して幸せに暮らしていける地域作りにつながっていることも教えられました。

この教室の様子は松本山雅公式サイトにも掲載され、生徒たちにとって思い出深い福祉体験教室になりました。

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

【認知症サポーター養成講座を開催しました】



65歳以上の高齢者約5人に1人が認知症になりやすいと推計されています。認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人がなることなども含めて、他人事ではすまされないものになっています。このことから、たとえ認知症になっても安心して暮らしていける地域づくりが求められています。認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、認知症ご本人やその家族を温かく見守る応援者の事です。

2月10日（火）に村地域包括支援センターと社協の共催で認知症サポーター養成講座が開かれ、阿智高校生から地域住民までの幅広い世代が受講されました。

受講者の感想から



認知症の方へはやさしくゆっくりと声掛けすることで安心していただけることを学びました。今後は普段からやさしい声掛けを行っていくことで自然に身につけていって、認知症の方と関わっていきたいです。いろいろな方と話し合いができてよかったです。

事例検討をしたことで、認知症の人がどのような人生からの背景や価値観があって、どんな気持ちでいるのか？推理・想像しながら興味深く考えることができました。私の両親も高齢で、今後、介護することがあるかもしれないため、とても参考になりました。



認知症というと、何もわからなくなる、介護が必要になる、不可解な言動が増える……このようなイメージを持たれていないでしょうか？しかし、このような行動の背景には必ず何らかの理由があるため、「わからない」と一蹴せずに、相手に寄り添ってご本人の思いに考えを巡らせることの大切さを受講者は学んでいました。この講座を通して認知症の理解が進み、認知症の方が暮らしやすい地域に近づいていくことが期待できました。

認知症サポーター養成講座は今後も行っていく予定ですので、住民の皆様のご参加をお待ちしています。

阿智村社協のホームページがリニューアルしました♪

おなじみのホームページが一新し更に見やすくなりました！
親しみのあるデザインになり、閲覧もしやすくなったため、
今後も皆さまに快適にご利用いただきたくお願い申し上げます♪

社協事務局が新しい職員体制になりました



新事務局長 今村 雅

今年度より事務局長に就任しました今村雅と申します。微力ではありますが、阿智村の福祉のために、尽力させていただく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

今後も地域の皆さま、関係機関の皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新会計係 住吉 遥夏

今年度から地域福祉係から会計係へ異動になりました。また違った視点から地域の皆様に貢献できるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新年度がはじまり、職員一同気持ちを新たに地域住民の皆さまへ福祉サービスを提供していきたいと思いき、今年度もよろしくお願いいたします。

社協に寄せられた善意

令和8年1月～令和8年3月分

寄付金：	匿名希望	(清内路)	100,000円
物 品：	匿名希望	(智 里)	紙オムツ
	匿名希望	(駒 場)	衣 類
	匿名希望	(駒 場)	液体洗剤
	匿名希望	(智 里)	ポータブルトイレ
	匿名希望	(駒 場)	衣 類
	匿名希望	(駒 場)	タオル・洗剤
	匿名希望	(智 里)	炊飯器3台
	トヨタ車体 あららぎ自然村	(浪 合)	フェイスタオル1100枚



皆さまのあたたかい善意に社協一同心より感謝を申し上げます。
皆さまよりいただいた寄附、物品は地域福祉向上のために大切に活用させていただきます。